



令和4年度の 予算案をお知らせします……………	2・3面
丸わかり！ 引越しシーズンの手続き……………	5面
市からのお知らせ……………	11面から
新型コロナワクチン 最新情報……………	12面
リニューアルオープン 太宰治文学サロンがブックカフェに！…	12面

新型コロナウイルス感染症への対応と 新たな時代に向けた挑戦を

令和4年度予算案 一般会計750億7,926万円



三鷹市長 河村 孝

新年度の 施政方針(概要)

令和4年の第1回市議会定例会が2月24日に開会し、新年度の市の予算案が審議されています。今号では、新年度の予算案と主な事業について紹介します。

予算案の概要については、2・3面で紹介しています

新型コロナウイルス感染症の国内発生から2年以上が経過していますが、いまだ収束したとはいえない状況が続いています。令和4年度は引き続き、同感染症への対応を最優先とし、感染症対策の徹底とワクチン接種の円滑な実施を進めます。そして、社会・経済活動の回復と活性化に向けて、市民の皆さんが安心して住み続けられるまちづくりを進めます。

また、地域の想いや声を幅広く聴き、これまでにない市民・学識・職員参加を展開し、今まで以上に市民の皆さんに寄り添った計画づくりを進めていきます。厳しい状況下であっても、日々変化する社会情勢を見極め、時代の潮流を捉えた新たな手法を取り入れながら、三鷹市が持つ可能性を最大限に生かして、持続可能なまちづくりに全力を注ぎます。

新型コロナウイルス感染症への 対応と支援の継続

令和4年度予算編成においても、感染症対策の徹底を基本に据えました。医療機関や自宅療養者、事業者・労働者への支援を継続しながら、コロナ収束後を見据えた取り組みを進めます。

感染症対策に当たっては、すべてを正確に予見することは困難です。状況に応じて、補正予算により追加の対策を講じるほか、迅速に対応するため予備費を増額するなど、市民の皆さんの命と暮らしを守ることを最優先に取り組みます。



『第4次三鷹市基本計画(第2次改定)』に基づく施策の推進

「質の高い防災・減災まちづくり」を目指し、「都市再生」「コミュニティ創生」を中心に、次の七つの施策を着実に推進します。4年度の主な事業は2面をご覧ください。

1 「百年の森構想」の実現に向けた 段階的なまちづくり

百年後には市域全体を緑あふれる空

間とするため、緑の保全と創造を基礎とした土地利用を検討します。その第一段階となる三鷹駅南口中央通り東地区再開発では、基本プランの策定とともに地権者と合意形成を図り、5年度の都市計画決定を目指します。大沢地区では、約100年をかけて育まれた「天文台の森」を次世代へと引き継ぐために、緑あふれる街並みを大切にしながら、地域の課題解決を図ります。

2 環境と調和した持続可能な まちづくり

10月に開催される「星空の街・あおぞらの街」全国大会では、「天文台のあるまち三鷹」の特性を生かし、大気環境保全に向けて意識の向上を図るとともに、地域の活性化につなげます。また、コミュニティバスの社会実験では、小型EV車両(写真)を導入するなど、住宅地内での運行による利便性の向上や環境負荷の低減に取り組みます。



3 地域における防災活動の 充実・強化

公共施設の老朽化への対応や避難所機能の強化を図るほか、防災NPOを設

立し、共助のネットワーク化を通して、地域の防災力向上に取り組みます。

4 まちの多様な声と活動を つなぐまちづくり

参加と活動の好循環の仕組みづくりに取り組みます。「市民参加でまちづくり協議会」では、市民参加の実践がいよいよ本格化します。学識・職員参加も図りながら、政策提案につながるように活動を支援します。また、10月からはボランティアポイント・地域通貨の試行運用を開始し、ボランティア活動の基盤として段階的に拡充していきます。

5 時代の変化に対応した コミュニティの創生

高度成長期に構築されたさまざまな地域社会を支える仕組みが転換期にあり、地域のつながりを深めていく必要があります。地域ケアネットワークでは、サロン事業の中で、マイクロバスを利用した買物送迎支援事業を試行的に実施します。また、旧どんぐり山施設を活用した「福祉Laboどんぐり山(仮称)プロジェクト」では、5年度のオープンに向けて施設の改修に着手します。

6 未来を担う子どもが ひかり輝くまちづくり

学校3部制の実現によるスクール・コミュニティの創造に取り組みます。子ども・子育て支援においては、この4月に、保育園・学童保育所の待機児童の解消が図られる見込みです。義務教育就学児医療費助成制度について

は、10月から中学生までの所得制限を撤廃するとともに、新たに高校生等の医療費助成を開始し、安心して子育てができる環境の充実を図ります。

7 「文化の薫り高い三鷹」に向けた まちづくり

三鷹市ゆかりの文学者を顕彰する施設を整備し、各施設や名所をつなぐことで、まちの魅力向上につなげます。太宰治にゆかりの深い故・桜井浜江氏の顕彰と市民の美術作品などの発表の場として、桜井浜江記念市民ギャラリーを4月にオープンします。また、「吉村昭書斎(仮称)」(画像)については、3月に閉鎖する井の頭第2駐輪場用地への整備を予定しており、5年11月の開館を目指します。



内観イメージ

持続可能な自治体経営の推進

「行政サービスの適正化に向けた見直しと適正な事務執行を確保するための環境整備」「組織の見直しと職員定数の適切な管理」「『スマートシティ三鷹』の推進」「受益と負担の適正化」の四つの視点で、行財政改革を推進します。

令和4年度の予算案をお知らせします

問 財政課 ☎内線2122

4年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は1,135億7,199万3千円で、前年度と比較すると30億6,628万7千円(2.8%)の増となります。

一般会計の予算額は750億7,926万2千円で、前年度と比較すると18億3,698万6千円(2.5%)の増です。これは、大沢野川グラウンドの復旧工事や小・中学校の空調設備整備・大規模改修などの都市再生に係る経費、新型コロナワクチンの3回目接種や私立認可保育園の新規開設などの社会保障関連経費が増加したことなどによるものです。

特別会計の予算額の合計は384億9,273万1千円で、前年度と比較すると12億2,930万1千円(3.3%)の増です。これは、国民健康保険事業・後期高齢者医療特別会計の増などによるものです。

下水道事業会計(公営企業会計)の単年度収支は、収益的収支で2億7,690万2千円の純利益が見込まれ、資本的収支で7億459万2千円の不足が見込まれています。

今号では、こうした4年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

各会計別の予算額

(単位：千円)

会計	4年度 予算額	3年度 予算額	増減		
一般会計	75,079,262	73,242,276	1,836,986	2.5%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	18,391,697	17,883,973	507,724	2.8%
	介護サービス事業特別会計	976,549	870,825	105,724	12.1%
	介護保険事業特別会計	14,375,083	14,074,045	301,038	2.1%
	後期高齢者医療特別会計	4,749,402	4,434,587	314,815	7.1%
合計	38,492,731	37,263,430	1,229,301	3.3%	
総計	113,571,993	110,505,706	3,066,287	2.8%	
純計	106,356,968	103,562,432	2,794,536	2.7%	

※「純計」とは会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。

(単位：千円)

下水道事業会計	4年度 予算額	3年度 予算額	増減		
収益的 収入・支出	収入	3,476,694	3,506,399	△29,705	△0.8%
	支出	3,199,792	3,246,026	△46,234	△1.4%
	差し引き	276,902	260,373	16,529	6.3%
資本的 収入・支出	収入	1,460,322	1,337,497	122,825	9.2%
	支出	2,164,914	2,061,175	103,739	5.0%
	差し引き	△704,592	△723,678	19,086	2.6%

※「△」はマイナス。

一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位：百万円)

	平成30年度		令和元年度		2年度		3年度		4年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出 総額	68,828	1.8%	68,976	0.2%	72,184	4.7%	73,242	1.5%	75,079	2.5%
うち市税	37,340	0.1%	38,059	1.9%	38,281	0.6%	36,857	△3.7%	38,740	5.1%

※「△」はマイナス。

一般会計 750億7,926万円

(1人当たり393,085円)

※「%」は一般会計予算に占める割合を示しています。
※1人当たりの金額は、4年度の人口見込み191,000人で割り戻した金額です。

歳出予算

議会費

市議会の運営に



5億372万円 0.7%
(1人当たり2,637円)

総務費

市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに



87億1,260万円 11.6%
(1人当たり45,616円)

民生費

社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに



387億2,245万円 51.6%
(1人当たり202,735円)

衛生費

健康増進、ごみ処理、公害対策などに



52億1,483万円 6.9%
(1人当たり27,303円)

土木費

道路、公園整備、緑化対策などに



55億2,241万円 7.4%
(1人当たり28,913円)

消防費

消防や防災対策などに



23億4,296万円 3.1%
(1人当たり12,267円)

教育費

小・中学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに



93億3,611万円 12.4%
(1人当たり48,880円)

公債費

市債(借入金)の返済に



37億5,223万円 5.0%
(1人当たり19,645円)

その他

消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに



9億7,195万円 1.3%
(1人当たり5,089円)

歳入予算

市税

皆さんからお預かりする税金



387億4,027万円 51.6%
(1人当たり202,829円)

各種交付金

使い方が定められていない国・都からの交付金など



57億3,864万円 7.6%
(1人当たり30,045円)

使用料・手数料・分担金・負担金

保育料やごみ処理手数料など、皆さんに負担していただく収入



17億5,281万円 2.3%
(1人当たり9,177円)

国庫支出金

使い方が定められている国からの負担金・補助金



133億4,977万円 17.8%
(1人当たり69,894円)

都支支出金

使い方が定められている東京都からの負担金・補助金



99億139万円 13.2%
(1人当たり51,840円)

繰入金

基金(貯金)の取り崩しなど



23億2,814万円 3.1%
(1人当たり12,189円)

市債

都市再生に係る事業などのための借入金



8億4,380万円 1.1%
(1人当たり4,418円)

その他

前年度決算の繰越金など

24億2,444万円 3.3%
(1人当たり12,693円)

4年度の主な事業

世界に開かれた平和・人権のまちをつくる

- 「人権基本条例(仮称)」の制定に向けた取り組み 83万3千円

魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる

- 「スマートシティ三鷹」の実現に向けた取り組み 4,683万4千円
- 市内産農産物の活用促進に向けた取り組み 1,151万6千円
- 「新都市再生ビジョン(仮称)」の策定 1,085万円
- 三鷹駅前広場の整備の推進 1億1,477万円
- 国立天文台と連携したまちづくりの推進 1,100万円
- 井口特設グラウンド利活用の検討 910万円
- 三鷹駅前地区再開発の推進 710万1千円

安全とろうおいのある快適空間のまちをつくる

- 防災NPO組織の設立に向けた取り組み 939万1千円
- みたかバスネットの抜本的な見直し 2,862万6千円

人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる

- 「三鷹市地球温暖化対策実行計画(第4期計画)」の第1次改定 1,498万2千円
- 「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催 1,100万円

希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる

- 地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展 1,395万4千円
- 災害時避難行動要支援者の「個別避難計画」の作成 604万2千円
- 「福祉Laboどんぐり山(仮称)プロジェクト」の推進(※) 1億9,956万7千円
- 休日診療所・休日調剤薬局等の一体的整備 4,640万2千円



(※)5年度中の事業開始に向けて、サービス開発などの開設準備を行います。また、3年度からの実施設計を踏まえ、旧どんぐり山施設(写真)の改修工事に着手します。

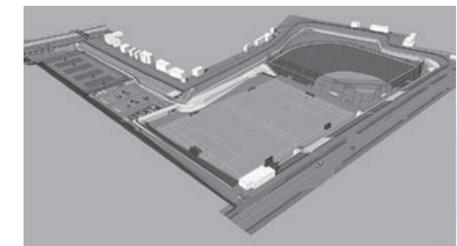
いきいきと子どもが輝く

教育・子育て支援のまちをつくる

- 義務教育就学児の医療費助成の拡充 1,696万8千円
- 高校生などの医療費助成の実施 5,974万2千円
- 待機児童解消に向けた定期利用保育事業の実施 5,928万1千円
- 学童保育所待機児童の解消に向けた取り組み 3,853万6千円
- スクール・コミュニティの実現に向けた学校3部制のモデル実施 2,629万1千円
- 学校施設の大規模改修工事の実施 4億1,114万6千円

創造性と豊かさをひろげる 生涯学習・文化のまちをつくる

- 大沢野川グラウンドの復旧工事(※) 7億410万7千円
- 三鷹市立アニメーション美術館の運営支援 3,424万7千円
- 桜井浜江記念市民ギャラリーの運営 649万9千円
- 「吉村昭書斎(仮称)」の整備 693万円
- 三鷹跨線人道橋の一部保存と調査などの実施 365万円



(※)東京都の野川大沢調節池規模拡大工事のため利用を停止している大沢野川グラウンドについて、5年4月下旬以降の利用開始に向けて、7月から復旧工事に着手します(画像は整備イメージ)。

ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる

- 「市民参加でまちづくり協議会」の活動のさらなる充実(※) 4,200万2千円
- ボランティアポイント・地域通貨事業の試行実施 3,029万7千円
- 「コミュニティ推進計画(仮称)」策定に向けた取り組み 24万円
- コミュニティセンター体育館への空調設備の整備 2,179万9千円
- 基本構想の改正および基本計画の策定に向けた取り組み 583万2千円
- 「マイナンバーカードセンター(仮称)」の開設 2億1,394万9千円
- 「おくやみ窓口(仮称)」の開設 790万9千円



(※)3年度に設立した「市民参加でまちづくり協議会」では、市民参加の実践により、まちの声を聴き、「三鷹市基本構想」の改正や「第5次三鷹市基本計画」の策定に向けた政策提案につなげていきます。

新型コロナウイルス感染症対策

- 市政窓口へのキャッシュレス決済とセミセルフレジの導入(※) 1,468万4千円
- 新型コロナワクチンの追加接種(3回目)の継続 5億1,340万9千円
- 新型コロナウイルス感染症対策への対応の検証 50万円



(※)新型コロナウイルス感染症対策と利用者の利便性向上を図るため、市政窓口での証明書交付などの手数料の支払いに、電子マネーやクレジットカードなどのキャッシュレス決済とセミセルフレジ(現金自動精算機)を導入します。

『令和4年度施政方針・予算概要』(1冊200円)、『令和4年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書』(1冊900円)は、相談・情報課(市役所2階) ☎内線2215で販売しています。また、市ホームページでもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、掲載している催しなどを延期・中止する場合があります。事前に市ホームページまたは各記事の欄でご確認ください。